

宇部市SDGs未来共創企業 インタビューシート

2024年2月提出

基本情報

	企業(団体)名	一般社団法人MINERVA UBE PLUS		
	代表者名	代表理事 廣田晃子	業態	法人
	業 種	R: サービス業(他に分類されないもの)	従業員数	5人
	所在地	〒755-0091 山口県宇部市上宇部75 ココランド体育館内		

積極的に取り組んでいる開発目標

2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナシップで目標を達成しよう						

インタビュー項目

① 普段どのようなことをされている企業(団体)ですか？

”クラブは人づくり 人づくりはまちづくり”という思いを掲げて、フットサルやスポーツを通じてできることをテーマに活動しています。

日本女子フットサルリーグに所属し、全国で年間15試合の試合をしています。

日常は、フットサル教室、高齢者向け健康教室、幼児・低学年向け体操教室などを行いながら、地域の健康づくりに取り組んでいます。

そのほか、女子サッカー、女子フットサルの競技力向上、練習環境の改善なども行い、地域で女子選手が活動しやすい環境を作り、さらに上のステージに向けて活躍できるよう育成に取り組んでおります。



②SDGsに取り組むに至ったきっかけ、理由は？

”クラブは人づくり 人づくりはまちづくり”という思いを掲げて、フットサルやスポーツを通じてできることをテーマに活動しています。その中で日常的に取り組んでいる「教育」「運動」「健康」「人権」などの活動は、SDGsの多くの目標の達成に関係しており、SDGsの目標に共鳴し、より具体的なアクションを起こす必要性を感じました。SDGsを具体的な行動に結びつけることで、地域社会の発展とより良い未来の実現に向けて努力しています。



③普段どのようなことに重点的に、或いは意識してSDGsに取り組んでいますか？

次の3点を重点的に取り組みを行なっています。

まず、「教育への普遍的アクセスの向上」として、社会階級、人種、性別、セクシュアリティ、民族的背景、身体的または精神的障害に関係なく、すべての人々に平等に教育へのアクセスを提供することに焦点を当てています。例えば、支援学校での体育授業指導、フットサル教室（キッズ、U-9、U-12、U-15）、高齢者向け体操教室などを開催しています。

そして「健幸的な生活促進」として、運動の楽しさを伝え、地域の住民がアクティブな生活を送るために、健康な生活習慣の普及を支援しています。また、こころの健康づくりカフェの運営による、健康的な食事の提供や、地域の住民との対話の場の創出に心掛けています。

さらに「社会的包摂と人権」にも注力しています。2023-2024のチームスローガンとして「ME. US. (私・私たちは、ありのままの自分たちと向き合い、可能性を信じ、なりたい存在になります。そして、地域コミュニティを活性化させる役割を担います)」を掲げています。



④2030年に向けたSDGsの取組について、今後の予定を教えてください。

これまであまり注力してこなかった「環境」に焦点を当てています。環境への負荷を減らすための具体的な取り組みとして、試合やイベント時に配布するパンフレットの回収を強化し、紙ごみの削減を図ります。また、シーズン終了後に売れ残ったグッズを再活用する取り組みを推進し、事業活動からの無駄や廃棄物を最小限に抑えます。

また、「循環型ビジネスの促進」として、スポンサーや地元企業と協働し、廃棄物削減とアップサイクルを組み合わせたプロジェクトを計画し、具体的な行動に移します。例えば、家具廃材のアップサイクルプロジェクトでは、不要になった家具の再利用方法を模索し、新たな価値を生み出します。また、ロスフラワーの再活用や廃棄服のリユース・リサイクルプログラムを通じて、相対的貧困状態にある方に商品を届ける取り組みを進めます。